

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第1回目 8月15日 10:00～10:15

康保会乳児保育所

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

音

〈テーマの設定理由〉

- ・音にどんな反応を見せるか
- ・楽器や身近にある物の音を聞かせて反応を見る

2. 活動スケジュール

- ・令和6年8月15日 10:00～ 0歳児:4名 1歳児:1名
- ・保育者が楽器や廃材で音を鳴らして子どもの反応を見る
- ・子どもも楽器に触れて音を鳴らす

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・こりす組 ベッドルームにてスペースをつくる
- ・床にジョイントマットを敷く
- ・用意したもの…太鼓・トライアングル・シンバル・鈴・ミルク缶・ハモンドジュニア・スティック棒
アルミボール・マラカス

4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・保育者が太鼓・アルミボール・鈴・シンバル・トライアングル・ミルク缶を鳴らして反応を見る
- ・保育者2名が同時に音を鳴らす
- ・上記の楽器や廃材に子どもも触れたり、音を鳴らしたりする
- ・活動中にハモンドジュニアを鳴らして反応を見る

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり〉

保育者が音を鳴らす…じっとみつめる、興味をもち保育者の近くまで行く、手を伸ばす、
保育者の顔を見る、手拍子をする、シンバルの音に目を丸くしたり、
ビクッとしたりする、鈴の音に反応が薄い子と手をキラキラさせる子がいる

同時に音を鳴らす…目をキョロキョロさせて両方見る、興味がある方へ移動する

子どもが楽器等に触れる…声を出しながら叩いてみる、音が鳴ると保育者の顔を見る、
笑顔を見せる
スティックと手で交互に楽器を鳴らす、楽器だけではなく床、
マットの音を鳴らす、保育者が鳴らすと見ながら真似をしようとする

ハモンドジュニアを鳴らす…全体的に反応が薄い、動きを止めて音がなる方向を見るが、
近くにある楽器を鳴らすことに戻る

〈活動中の様子〉



5. 振り返り

〈振り返りによって得た保育士の気づき〉

- ハモンドジュニアで雷の音や海のさざ波の音、動物など様々な音を鳴らしてみてもっと驚いたり興味をもつと思ったが、想像していた反応と違った。
- 人数が少なかったなので、様々な楽器に十分に触れることが出来て良かった。
- 低月齢児や2歳児などの様々な年齢での反応を見ていきたい。
- 音が鳴るものをぶら下げたり、様々な楽器や廃材などを用意したり、自分の興味があるものを選ぶような環境をつくっていきたい。
- 楽器同士や床・ジョイントマットなどを叩いて音を出す姿に、身近な物にも興味をもって取り組む姿がよかった。
- 楽器に対する反応が良かったため、新しい楽器を購入して更に興味を広げていく。